

2016 年度(平成 28 年度)

# 姉妹都市ソルズベリー市 訪問報告書

Report of visiting sister city of Salisbury 2016



Mobara City



2016 年度 姉妹都市ソルズベリー市訪問団  
Delegation to Sister city of Salisbury 2016

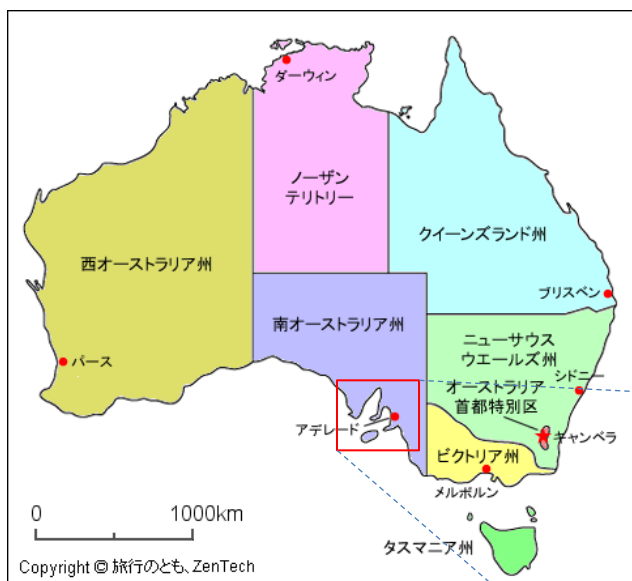


## 目次 Contents

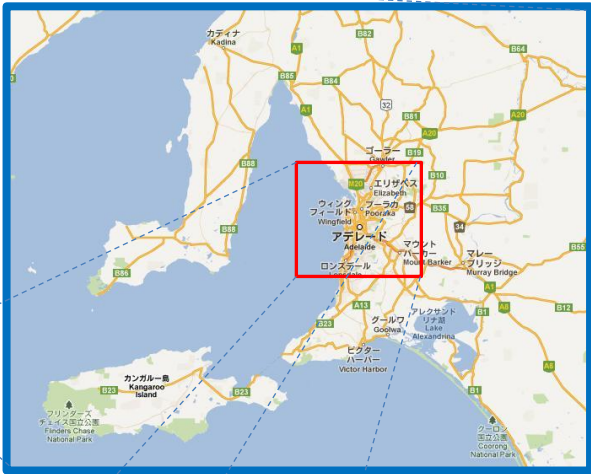
ソルズベリーの位置	1
Location of City of Salisbury	
ソルズベリーについて	3
About City of Salisbury	
茂原市とソルズベリー市の比較	4
Comparison between Mobara and Salisbury	
姉妹都市交流の意義、姉妹都市交流の経緯について	5
Significance of Sister city Interchange, History of Salisbury and Mobara	
姉妹都市ソルズベリー市訪問団	6
Member of delegation from Mobara City	
姉妹都市訪問スケジュール	7
Schedule of Delegation	
訪問記録 Visiting Report	
10月27日(木)、28日(金)	8
October 27, 28	
10月29日(土)	19
October 29	
10月30日(日)	24
October 30	
10月31日(月)、11月1日(火)、2日(水)	30
October 31, November 1, 2	
ソルズベリー・アデレードの風景	31
Sceneries of Salisbury and Adelaide	
参加者の感想	33
Opinions of member of Delegation	



# ソルズベリー市の位置 Location of City of Salisbury

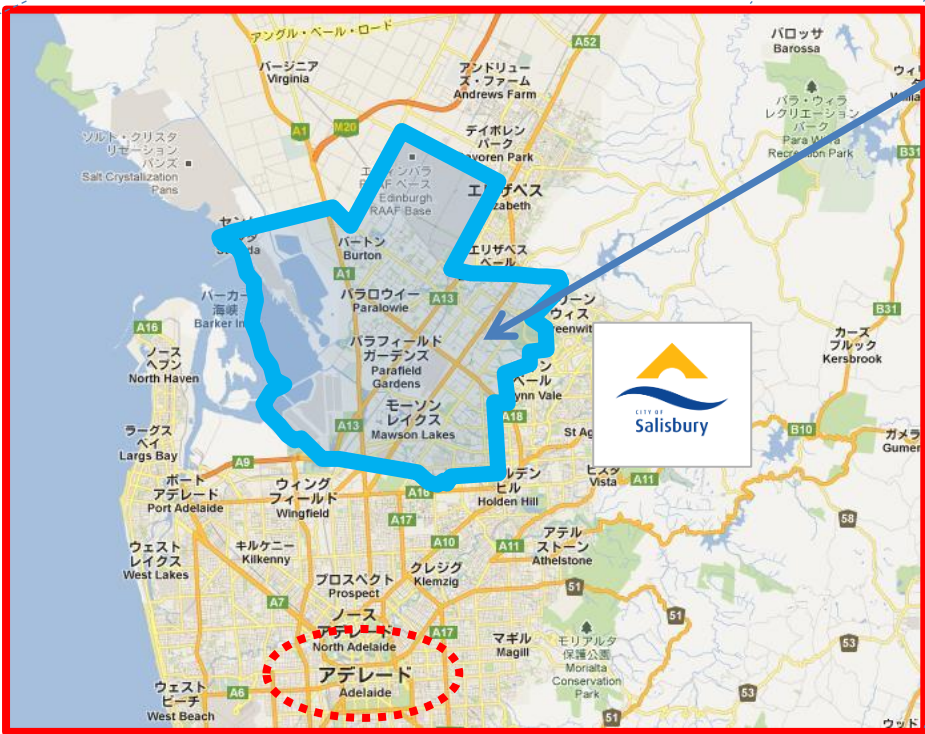


【オーストラリア連邦】  
英語表記： Commonwealth of Australia  
日本語表記： 豪州（ごうしゅう）  
オーストラリア大陸本土、タスマニア島及び多数の小島から成るオセアニアの国。



ソルズベリー市は、オーストラリア連邦 南オーストラリア州 南部のグレートオーストラリア湾に面した都市です。

ソルズベリー市  
City of Salisbury



ソルズベリー市は、アデレードの北に位置しています。



### <位置>

ソルズベリー市は、オーストラリア連邦 南オーストラリア州の東南部、アデレードの北部に位置しており、赤道を挟んでほぼ逆の位置です。

### <季節・気候>

南半球のため四季は日本と逆です。地中海性気候で、夏は高温乾燥、冬は温暖多湿、平均気温は夏 28℃、冬 7℃ほど。訪問時の季節は春でしたが、乾燥した空気に日差しが強く日焼けするほどでした。

### <時差>

茂原市（日本）とソルズベリー市の時差は、30分です。10月下旬から3月下旬まではサマータイムとなり、1時間30分早まります。オーストラリアは国土が大きいので国の中でも時差があり、例えばシドニーとソルズベリーの時差30分です。



## ソルズベリー市について About City of Salisbury

### 【市議会】

市議会は市長及び議員16名で構成され、議会の議長は市長が務めます。

議員には議員活動にかかる経費が報酬として支給されますが、議員であること自体の報酬はありません。ソルズベリー市の属する南オーストラリア州では任期が4年ですが、1年～4年の間で州ごとに任期が異なります。

### 【行政】

オーストラリアの自治体では、CEO（最高経営責任者）が行政執行の長として日本の市長のような役割を担っており、人事権を有する他、議会对応も行います。

### 【産業】

農業分野は穀物や牧羊が主でしたが、徐々に果樹園や市場が形成され、現在では花や野菜を州都アデレードや国際市場に供給する方向で発展しています。商業、工業の面では、特に自動車、軽工業が発展、自動車関連企業が多く、世界有数のウール加工会社、巨大スーパーマーケットのほか、パイロット養成所などがあります。

### 【教育】

日本に対する関心が高く、日本語学習も盛んです。

幼・小・中・高校まで一貫教育の私立学校が多くあります。

（大学1校、教育専門2校、高校4校、中学校10校、小学校25校）

### 【その他】

<文化活動> 音楽、美術、演劇、手芸、料理などのグループ活動が盛んです。

<スポーツ> クリケット、ラグビー、ホッケー、陸上、卓球など

<人種> イギリス・アイルランド(47%)、欧州・旧ソ連(28%)、アジア(17%)、米・太平洋諸島(6%)、中東・アフリカ(2%)



## 茂原市とソルズベリー市の比較 Comparison between Mobara and Salisbury

	茂原市	比較	ソルズベリー市
位置	千葉県ほぼ中央	赤道をはさんで ちょうど反対の 位置	南オーストラリア州南部 アデレードの北
緯度・経度	北緯 35° 東経 140°		南緯 34° 東経 138°
面積	99.92km <sup>2</sup>	1.58倍 →	158.1km <sup>2</sup>
人口	約9万1千人	1.4倍 →	約13万人
気候	温暖湿潤気候		地中海性気候
平均気温	夏30℃ 冬0.1℃		夏28℃ 冬7℃
主な産業	製造、小売、建設、農業		自動車、軽工業、防衛 電気通信、農業
行政職員数	約600人	1.7倍 ←	約340人
予算	約290億円	2.9倍 ←	約100億円
時差	30分（ソルズベリー市は、日本時間の +30分） サマータイム時（10月～3月）は、+1時間30分		

### 「日本」と「オーストラリア」の比較

	日本	比較	オーストラリア
面積	約37万8千km <sup>2</sup>	約20倍 →	約769万km <sup>2</sup>
人口	約1億2千700万人	約5.7倍 ←	約2千424万人



## 姉妹都市交流の意義 Significance of Sister City Interchange

茂原市は、平成 14 年 5 月にソルズベリー市と姉妹都市提携を結び、相互理解と友好親善を深めるとともに、両市民間の幅広い分野における交流を図るため各種事業を実施してきました。

姉妹都市交流を中心に各分野における国際交流を通じて、市民一人ひとりが、国際社会の中でわが国のおかれている環境を認識し、国際感覚や国際意識を高めていくことができます。

また、国際交流活動を通じて、市民が、日本の歴史、日本文化の良さを再認識する機会になります。

国際交流活動によって得られる相互理解と信頼は、世界の平和と繁栄に大きく寄与するものです。

※本市における「国際化の推進」は「茂原市総合計画」に掲げられる事業です。



## 姉妹都市交流の経緯 History of Sister City Interchange

### 【姉妹都市提携】

平成 14 年 5 月 茂原市市制施行 50 周年を契機に、ソルズベリー市と姉妹都市締結。

### 【姉妹都市交流事業】

**行政交流** 4 年に 1 度、市長訪問団の受け入れ及び訪問を実施

＜受入＞H14、H18、H22、H26 ＜派遣＞H16、H20、H24、H28

**学生交流** ティンデイルクリスチャンスクール、モーソンレイクススクール生徒の受け入れ市内中学生（25 名程度）を毎年派遣（教育委員会事業）

**スポーツ交流** 少年野球チームレッツの受入

※平成 26 年度 市長訪問団を受け入れ（平成 26 年 7 月 24 日～30 日）

16 名（オールドリッジ市長夫妻、CEO 夫妻、市議会議員、ロータリアン、青年議会他）

### 【実習生プログラム】

サウスオーストラリア大学生を実習生として、ジャパンディスプレイが受け入れ

（Ⅰ期）H25 年 7 月～12 月 女性 2 名、（Ⅱ期）H26 年 1 月～6 月 女性 1 名・男性 1 名

（Ⅲ期）H26 年 7 月～12 月 男性 1 名、（Ⅳ期）H27 年 4 月～7 月 男性 2 名



姉妹都市ソルズベリー市訪問団  
Member of Delegation from Mobarra city

氏名	団体及び役職	
田中 豊彦	茂原市	市長
田中 令子		市長夫人
内田 達也	茂原市教育委員会	教育長
内田 ひとみ		教育長夫人
金坂 道人	茂原市議会	
小林 宏子	茂原商工会議所	
篠崎 武尚	茂原商工会議所	
安藤 順夫	茂原市中学生等海外派遣事業実行委員会	
安藤 明子		夫人
湯浅 幸子	茂原市国際交流協会	会長
鎌田 国雄	茂原市国際交流協会	副会長
長野 豊和	茂原市国際交流協会	理事
市原 キミ子	茂原市国際交流協会	
山田 隆二	事務局（茂原市企画政策課）	企画政策課長
鶴岡 隆之	事務局（茂原市企画政策課）	企画政策課 男女共同・国際化係長

（委嘱期間：平成28年10月27日～11月2日）





## 姉妹都市訪問スケジュール（概要版） Schedule of Delegation

【期間】平成28年10月27日(木)～11月2日(水)    October 27th ~ November 2nd 2016

月日 Date	内容 Activity	時間 Time	発着都市 City	交通機関 Traffic
10月27日 (木) Oct. 27	羽田空港からカンタス航空にて空路シドニーへ Departure from Haneda to Sydney	22:00	羽田空港	カンタス航空 QF026
10月28日 (金) Oct. 28	入国・税関審査後、 カンタス航空（国内線）にて空路アデレードへ Transfer from Sydney to Adelaide  <b>ソルズベリー市表敬訪問</b> Courtesy Visit to City of Salisbury	9:30 11:30 13:05	シドニー空港  アデレード空港  ソルズベリー市	カンタス航空 QF1555
10月29日 (土) Oct. 29	<b>ソルズベリー市視察</b> (競技場、アデレード博物館、ワイルドライフパーク) Field trip to Adelaide Oval, Adelaide Museum, Gorge Wildlife park		アデレード市 ソルズベリー市	
10月30日 (日) Oct. 30	市内視察及び <b>茂原まつり</b> へ参加 Attending to "Matsuri on Mobara"		アデレード市 ソルズベリー市	
10月31日 (月) Oct 31	カンタス航空（国内線）にて空路シドニーへ Departure from Adelaide to Sydney	14:55 17:20	アデレード空港 シドニー空港	カンタス航空 QF756
11月1日 (火) Nov. 1	シドニー空港からカンタス航空にて空路日本へ Departure from Sydney to Haneda	21:35	シドニー空港	カンタス航空 QF025
11月2日 (水) Nov. 2	羽田空港到着後、市バスにて茂原市へ Haneda to Mobara city	5:00	羽田空港	モバリん号



## 訪問記録 Visiting Report

訪問期間：平成 28 年（2016 年）10 月 27 日～11 月 2 日

10月27日（木）

22：00 羽田空港発一路オーストラリアへ Departure from Haneda Airport to Australia  
カンタス航空 QF026 便にてシドニー キングフォード空港へ  
（所要時間 約 9 時間 30 分）



機窓から

10月28日（金）

11：30 乗り継ぎ Transit Adelaide Airport  
シドニー キングフォード空港発 カンタス航空 QF 1555 便にて  
アデレード空港へ（所要時間 約 2 時間）

13：05 アデレード空港到着 Arrival at Adelaide Airport  
アデレード空港に降り立った訪問団は、オールドリッジ市長はじめソルズベリー市の皆さんから盛大な歓迎を受けました。

ソルズベリー市長 表敬訪問  
Courtesy Visit to Mayor Aldridge

16:30 ソルズベリー市庁舎に到着 City Hall of Salisbury



ソルズベリー市庁舎（外観）



ソルズベリー市庁舎（ロビー）



庁舎には、歓迎の文字が



オールドリッジ市長と田中市長を中心に

# Welcome to City of Salisbury !!

市長及びソルズベリー市スタッフ

Greeting Party of Salisbury



市長 ジリアン アルドリッジ 氏  
Gillian Aldridge  
Mayor



CEO（最高経営責任者） ジョン ハリー 氏  
John Harry  
Chief Executive Officer



戦略的国際的パートナーシップ小委員会 委員長  
ベティ ギル 氏 Betty Gill  
Chairman, International & Strategic Partnerships Sub-Committee, Councillor

戦略的国際的パートナーシップ小委員会 委員



市議会議員（副市長）  
デビッド バラザ 氏  
David Balaza  
Councillor (Deputy Mayor)



市議会議員  
グラハム レイノルド 氏  
Graham Reynolds  
Councillor



市議会議員  
ジュリー ウッドマン 氏  
Julie Woodman  
Councillor

17:00 表敬訪問及び意見交歓 Courtesy Visit to Mayor Aldridge and Chairman Gill

訪問団は、ソルズベリー市庁舎 市議会にて、オールドリッジ市長を表敬訪問し、それぞれの市政に関する意見交換を行いました。

<意見交換の主な内容（抜粋）>



ベティ・ギル委員長

茂原市からの訪問団皆さんの来訪を心より歓迎します。



オールドリッジ市長

田中市長をはじめ訪問団皆さんの来訪を心より歓迎します。また、私達は先住民に心から敬意を表しています。



田中市長

私達が来る前に悪天候による甚大な被害があったと聞いています。お見舞いを申し上げます。

※訪問団来訪の直前、大雪により市内全域に甚大な被害が発生し、市庁舎内でも停電、システムダウン等が発生したとのこと。



オールドリッジ市長

ソルズベリー市は、産業構造の転換による重大な経済的変化に直面しています。私達は、茂原市の経済が前々回私達が訪問した時と同様に今も良好な状態であることを願っています。



田中市長

茂原市もそうだが日本全体が、少子高齢化が深刻な問題となっています。労働力の減少、扶助費の増加が喫緊の問題となっています。



オールドリッジ市長

ソルズベリー市では、市の中心部の活性化に取り組んでいます。これは、市が中心になって住民のための施設を建設する大きなプロジェクトです。茂原市での施設等の整備計画はありますか？



田中市長

茂原市では、東芝、日立という大企業が撤退しました。私は、企業誘致に取り組んでおり、JDI（ジャパンディスプレイ）、沢井製薬を誘致しました。雇用の増加に期待しています。



オールドリッジ市長

ソルズベリー市では、最近、市の一部を国際野鳥保護区のための南方導入路として認定しました。ソルズベリー市には日本からの渡り鳥が飛来していますよ！

ソルズベリー市議会にて





茂原市が過去に贈呈した記念品を議会の入口に展示していただいていたました。

## 歓迎会（ジョンハーヴェイ ギャラリーにて）

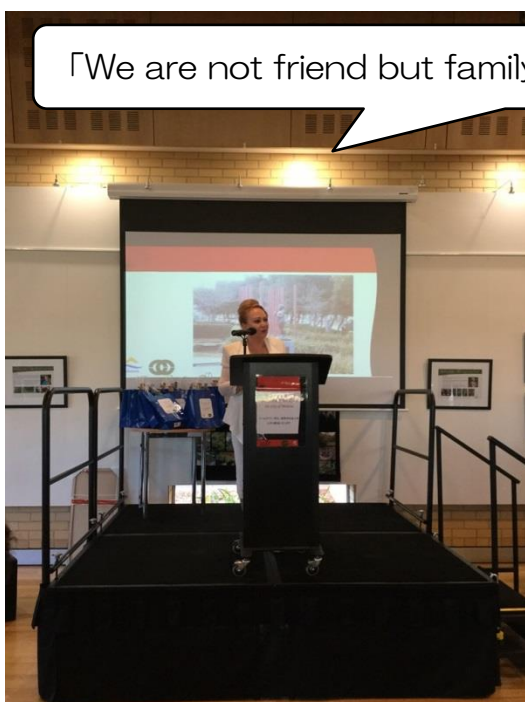
Welcome Reception at John Harvey Gallery

### 18:00 歓迎会 Welcome Reception at John Harvey Gallery

表敬訪問・意見交換後に市庁舎内「ジョンハーヴェイ ギャラリー」にて歓迎会を開催していただきました。

オールドリッジ市長は、あいさつの中で茂原市長訪問団の来訪を歓迎するとともに、「両市の関係はこれからは、同じ『F』でも、もはや、Friend（友）ではなく、Family（家族）になった。」と述べられました。

田中市長は、「両市間の親善関係のもとで行われる様々な交流を通じて、交友を深め、国際性を養いながら、未来を担う数多くの青少年が育つことを期待するとともに、今後もソルズベリー市の皆様と協力しあいながら、両市の発展と両市民の幸せのために未永く交流していきたい。」と話しました。



歓迎のあいさつをする  
ジリアン アルドリッジ市長



お礼のあいさつをする田中市長



← 先住民アボリジニ (Aborigine) の歓迎のあいさつ  
 オルドリッジ市長をはじめソルズベリー市民の皆さんは、先住民アボリジニ (Aborigine) の皆さんに心から敬意を払っています。  
 オルドリッジ市長に続き、アボリジニの代表より、市長訪問団へ歓迎のあいさつをいただきました。

記念品の交換 Exchange of the gifts

アルドリッジ市長と田中市長は記念品の交換をしました。



記念品の交換をする両市長



ソルズベリー市からの記念品  
 『私たちの沼地に住むの生き物』

茂原市からの記念品  
 西中千人 (ゆきと) 氏 作  
 『呼継 (よびつぎ)』





茂原市からの記念品『呼継 (よびつぎ)』について

【作者】 西中千人 (にしなか ゆきと) 氏  
茂原市在住の「ガラス造形作家」  
「CREATIVE HACK AWARD 2013 グラフィック賞」他、数多くの賞を受賞。  
世界を舞台に活躍している。

【呼継 (よびつぎ)】

破損した器を継ぎ修復する日本が誇る伝統技術「呼継」。  
西中氏は、「不完全の美 (Beauty in imperfection)」の精神を礎に、自らが作った器を叩き割り、再び熔かして継ぎ、ヒビの美を追求している。

歓迎会の様子 Scenes of the Reception

50名を越える関係者に歓迎していただきました。



↑  
流暢な日本語と英語の二元中継による「落語」を披露してくれた Jarrod (ジャロ) さん



↑ Salisbury市のスタッフの皆さん。



←  
アボリジニの伝統的な楽器の演奏を披露していただきました。



## レストラン「MOBARA」にて夕食

Dinner at MOBARA Restaurant

### 19:30 夕食 Dinner at MOBARA Restaurant

歓迎会終了後、市庁舎から徒歩で数分のレストラン「MOBARA」にて、オールドリッジ市長夫妻、CEO ジョンハリー夫妻、ベティギル夫妻をはじめ、市議の皆さん、市スタッフの皆さんと夕食をとりました。

### 『MOBARA RESTAURANT (レストラン MOBARA)』について

姉妹都市茂原市に敬意を表し、2016年3月にソルズベリー市内 市庁舎のすぐ近くにオープンした日本食レストラン。

オーナーは、実業家の Van Nguyen (ヴァン ギュエン) 氏。「ソルズベリー市と茂原市との姉妹都市関係を知り、茂原市に敬意を表するとともに、ソルズベリー市民に日本食を食べていただきたい。」との思いでレストランをオープンしたとのこと。

カンガルー料理、ワニ料理等オーストラリアの伝統料理と、刺身や焼き鳥をはじめ様々な日本食の創作料理がメニューに並ぶ。また、千葉県産の地酒をはじめ様々な日本酒も楽しめる。ソルズベリー市民で賑わい、いつも満席のレストラン。



MOBARA Restaurant の外観



店内の様子



いたるところに「歓迎」の文字が



オーナーのギュエン氏ご夫妻





10月29日(土)

市内視察 City Inspection

## アデレード オーバル (競技場) Adelaide Oval

オーストラリア 南オーストラリア州 アデレードにあるクリケット場。1871年に南オーストラリア州クリケット協会(SACA)により創設。

またオーストラリアン・フットボール・リーグのポート・アデレードのホームグラウンドでもあり、夏場にはオーストラリア代表のテストマッチやクリケットの試合が行われる。2007年から2010年までIRBセブンズワールドシリーズオーストラリア大会の会場としても使用されていた。

また2003年にはW杯の会場としても使用されていた。2015年にはデイ/ナイト・クリケットとして初となるテストマッチ(対ニュージーランド戦)が開催された。

クリケットは、オーストラリアでは国民的スポーツである。

スコアボードは、100年以上前に建てられ補修を加えながら現在に至る貴重な財産である。



## 南オーストラリア博物館 South Australian Museum in Adelaide

オーストラリア アデレード市内に存在する博物館。

南オーストラリア州の文化、特に先住民族であるアボリジニに関する展示資料は世界最多とも評される。他に、恐竜化石、動物の剥製、巨大なオパールなどの展示が行われている。



ミュージアムの外観

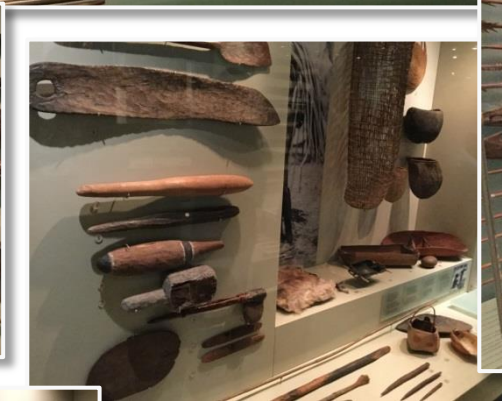


ミュージアム ロビー



## アボリジニの文化展示 (Australian Aboriginal Cultures Gallery)





# ワイルドライフパーク Gorge Wildlife Park

100種類以上の動物がいる動物園。来園者はコアラを抱いたり、ワラビーほか多くの動物と触れ合える。





## 夕食への招待 Hosted Dinner

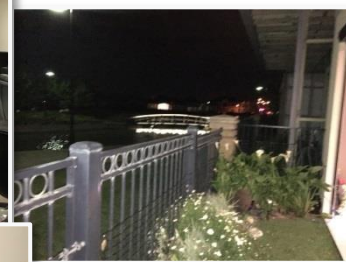
オーストラリアでは、お客様をもてなす際に、自宅へ招待して夕食をふるまうという習慣があります。今回、訪問団は3つのグループに分かれて、オールドリッジ市長宅、姉妹都市委員会ベティ委員長宅、市議会議員ジュリー・ウッドマンさん宅にお招きをいただき、おもてなしを受けました。

それぞれのお宅で手料理や、様々なおもてなしをいただき、素晴らしい時間を過ごすことができました。

### シリアン・オールドリッジ市長宅



←  
オールドリッジ市長のご主人ロビンさん



### 市議会 ジュリー・ウッドマン議員宅



### 姉妹都市委員会 ベティ・ギル委員長宅



10月30日(日)

市内視察 City Inspection

## トレンス川とポパイボート

Riding on the Popeye Boat on the Torrens River

### トレンス川 (Torrens River)

オーストラリア南部アデレード市内を流れる全長 60km 余りの川で、アデレード北東部のバロッサバレーに源を発し、アデレードの CBD (中心業務地区) 北部を流れており、ウエストビーチ (West Beach) でセントビンセント湾に注ぐ。

流域面積は 620km<sup>2</sup>、大小の支流をあわせた川の総延長は 1000km 程度とされる。アデレードの水道水の約 20% を供給する重要な河川であるため、州や流域の地方自治体で TCWMB (Torrens Catchment Water Management Board) を結成し、流域内の総合的な水資源の有効な利用法や汚染対策に取り組んでいる。

### ポパイボート (Popeye Boat)

船窓から市内の景色を眺めながらトレンス川を 45 分でクルーズ。市民及び観光客の憩いのアトラクションとなっている。



## 『茂原まつり』と『茂原公園』 Mobara Park & Matsuri on Mobara

### 【茂原公園 Mobara park】

平成 16 年 10 月 20 日、姉妹都市友好を記念してモーソンレイクス地区に建設された。茂原市にちなみ〈Mobara Park〉と名付けられた。ソルズベリー市の広い空をイメージした「空を映す公園（Garden of Shifting Skies）」、茂原市をイメージした「田畑の庭園（Garden of Fields）」、「花の庭園（Garden of Blossoms）」、その他広場やバレーボールコートなどがある。

茂原市から、市内在住の佐藤高元（こうげん）氏制作のブロンズ像「なかよし／Friendship」が寄贈された。

### 【茂原まつり Matsuri on Mobara】

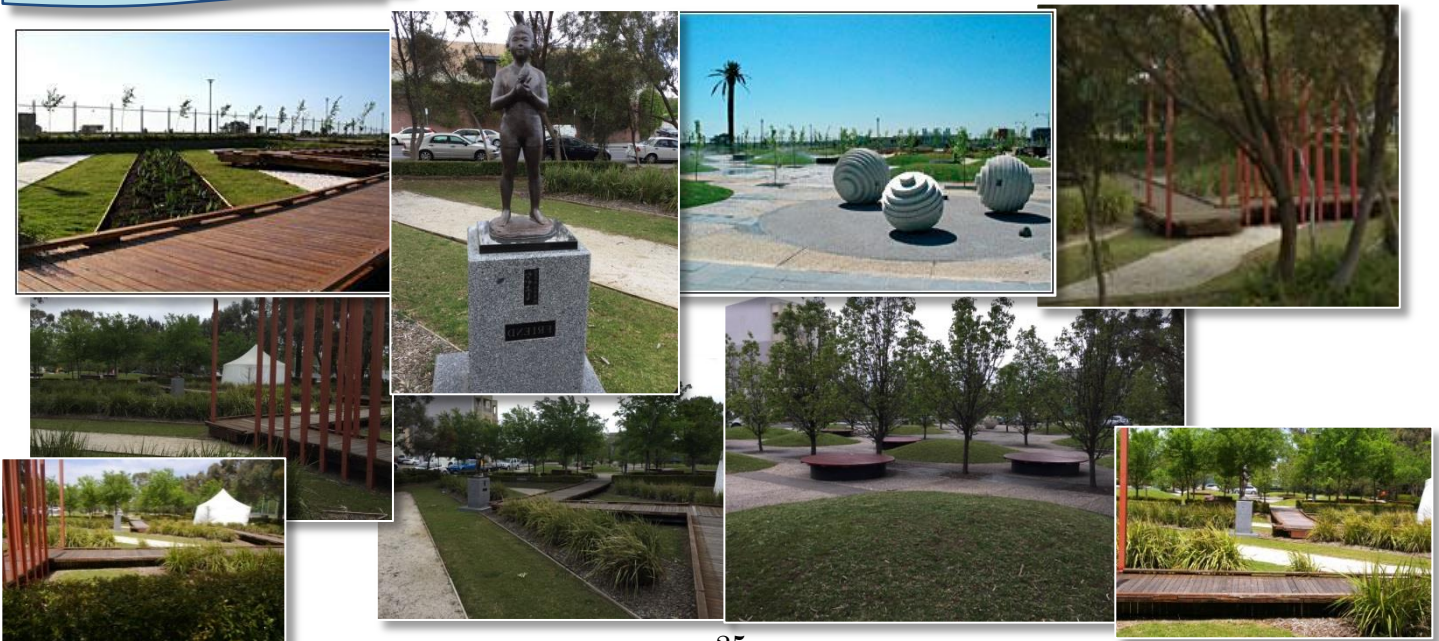
毎年 10 月に、茂原公園（Mobara Park）では、日本をテーマにしたイベント「Matsuri on Mobara」が開催され、様々な日本文化が紹介され、多くの人でにぎわう。

10月30日（日）の午後、訪問団は「Matsuri on Mobara（茂原まつり）」に出席しました。オールドリッジ市長の歓迎のあいさつの後、田中市長が「4年ぶりの訪問とオールドリッジ市長をはじめソルズベリー市民の皆さんとの再会を喜ぶ」あいさつを英語ですると、ソルズベリー市民の皆さんからあたたかい声援と拍手がわき起こりました。

茂原まつり Matsuri on Mobara の会場は、市長訪問団歓迎ムード一色となりました。

会場では、日本の伝統である「空手」、「居合い」、「和太鼓」等が披露され、子供達に参加できる「相撲」のコーナーもありました。また、食べ物のコーナーでは、「おにぎり」や「寿司」の作り方、「抹茶のたて方」等、様々な日本文化が紹介され、会場を訪れたソルズベリー市民の皆さんでとても賑わっていました。

### 茂原公園 Mobara Park



# 茂原まつり Matsuri on Mobara



「Matsuri on Mobara」の看板



英語であいさつする田中市長



田中市長とオールドリッジ市長



訪問団一行



様々なブースが並ぶ



歓迎のあいさつをするアポリジニの長老



居合の技を披露



空手の型を披露



着ぐるみを着ての子ども相撲



合気道



参加者と話す田中市長



英語・日本語の二元落語、Jarrod さん



モバりんが！



CEO ジョン・ハリー夫妻



子供達に記念品を手渡す田中市長



姉妹都市委員長 ペティ・ギルさん



お茶のお手前を披露



パラヒルズハイスクールの皆さん



オールドリッジ市長が色打掛を披露



現地ロータリークラブとの交流



田中市長は、茂原まつり（Matsuri on Mobara）のステージ上で、訪問団を代表して英語であいさつを述べました。

【田中市長 あいさつ趣旨】 ※日本語意訳

ソルズベリー市と茂原市の友好のシンボルであるこの素晴らしい「Mobara Park（茂原公園）」で、再びソルズベリー市民の皆様と共に「Matsuri on Mobara（茂原まつり）」に参加できることを大変うれしく思う。 ～ 中略 ～

茂原市においては、本年で第62回を数える「茂原七夕まつり」が、毎年7月に開催され多くの皆様にお楽しみいただいている。 ～ 中略 ～

ソルズベリー市の「Matsuri on Mobara（茂原まつり）」も、市民のためのまつりとして、「茂原七夕まつり」と共にますます発展し、市民の皆様に末永く愛されるお祭りとなるよう願っている。共にいいお祭りを作っていきましょう。 ～ 中略 ～

ソルズベリー市と茂原市とは非常に遠く、国籍、民族、言語、文化などが異なるが、それらを乗り越えて友好と信頼を築いていくことが、両市の発展には欠かせないことである。 ～ 中略 ～

これからも様々な分野での交流を展開しながら、さらに両市の相互理解を深めていければ、それが必ずや両市の発展と、さらには、世界平和と繁栄に大きく寄与するものと確信している。今後もこれまで以上の交流を進めてまいりたい。



田中市長

## 送別会 Farewell Cocktail Function

### 16:30 送別会 Farewell Cocktail Function

Matsuri on Mobara (茂原まつり) 終了後、市内の「レストラン ラヴィータ (LaVita Restaurant)」にて、送別会を開いていただきました。

短い滞在期間ではありましたが、田中市長をはじめ訪問団は、オールドリッジ市長をはじめソルズベリー市の皆さんとの別れを惜しみました。

また、4年後には、ソルズベリー市の皆さんが茂原市においでいただくことを約束しました。



10月31日(月)

14:55 アデレード空港にて Farewell at Adelaide Airport

ソルズベリー市を後に、アデレード空港発 カンタス航空 QF756 便にてシドニー空港へ。

オールドリッジ市長、ジョン・ハリーCEO、ベティ・ギル委員長が見送りにおいでくださいました。

「5日間、大変お世話になりました。4年後、茂原市でお待ちしています。」ソルズベリー市の皆さんと名残を惜しみながら、アデレードを後にしました。



宿泊先のスタンフォードプラザホテルにて、出発前に。



アデレード空港



11月1日(火)

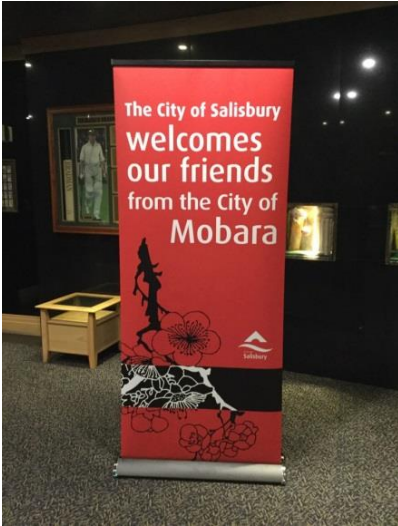
21:35 シドニー空港発 QF025 便にて日本へ Departure to Japan

11月2日(水)

5:00 羽田空港着 Arrival at Haneda Airport



ソルズベリー・アデレードの風景 Sceneries of Salisbury and Adelaide



市内のいたるところに歓迎の看板が！



← Elder Park (エルダー公園) での記念写真



広大な土地に縦横無尽に道路が配置され、宅地も 余裕をもって区画されています。  
 また、イギリスからの移民が多かったオーストラリアでは、自動車はイギリスと同じ左側通行で右ハンドル、距離やスピードの単位も「km」です。

マクシミリアンズでの食事会 Lunch at Maximilians Restaurant in Adelaide Hills



↑ CEO ジョン・ハリーご夫妻



今回姉妹都市訪問の一団に加えていただき、感謝申し上げます。

はじめて、姉妹都市を訪問し、感激することや学ぶことが多々ありました。その一つは、姉妹都市ソルズベリー市の温かな歓迎でした。それは、市長をはじめ、CEO、議長の心からのおもてなし、大切な時間を作ってくくださったことです。私たちを「ファミリー」とまでおっしゃってくださった言葉は心に残りました。また、レストラン「もばら」の食べ物一つ一つにも日本、茂原を意識したものがあふれ、一瞬どこにいるのか錯覚してしまいそうでした。

もう一つは、茂原祭りです。私の想像を超えた日本文化の発表でした。和太鼓、空手、相撲、剣舞、茶道、書道、着物、能、折り紙等、自信を持って披露される発表に、今までの国際交流の歴史を感じました。きっとこれまでの交流の中で生まれ、根付いた市民の活動なのだと思いました。私は、書道に興味を持っていたので、そのブースに行き、子どもたちの依頼に答えて名前を漢字に直し筆で書くという活動を、少しだけお手伝いをしました。名前を意味のある漢字に直し、意味を伝えながら子どもや親に渡すととても喜ばれました。その折、自分の言葉で話せたら…というもどかしさを感じました。

貴重な体験から、言葉は通じなくても気持ちが通じる部分と、言葉が通じたらもっと深まるものもあると実感した次第です。

私が多くの刺激を受けたように、訪問団に参加されれば多くの方は、姉妹都市交流を通して日本文化の良さの再確認、英語教育の重要性がわかるのではないかと思います。中学校のホームステイは毎年行われていますが、引率の学校の先生や市役所の国際交流を担当される方なども訪問団に入られたらよいのではないかと思います。ワイナリーでの昼食時、ソルズベリー市役所の女性3人と一緒でした。たわいない食事の話はできましたが、なかなか交流は進みませんでした。幸い、茂原の今年の阿波踊りの動画があったので見てもらったのですが、この場に市役所の方など交流ができる方がいらしたらよかったです。と思いました。

私は帰国してから、関わりのある子どもたち数人に、姉妹都市の話をしました。「もばら祭り？」と目を輝かせて聞いていました。たまたま、英語活動の熱心な茂原小学校の子どもだったからでしょうか？最後には「Thank you」と言って帰りました。

この学校の先生が…市の職員が…参加されれば、さらに大きな広がりになるのではないかと感じました。

- ・茂原まつりに大勢の皆様が喜んで来場していた。家族連れや若い夫婦、年配の方等いろいろな世代の方々が楽しんでいました。
- ・茂原市のグッズをプレゼントしたら子供達が大変喜んでくれた。言葉が通じなくても友好的な人々であった。
- ・茂原公園に桜の木を植樹してもらい、灯籠を飾ってもらったら、茂原まつりも一段と良いのではないかと。

私は8年前に中学生派遣団の引率の1人としてソルズベリーを訪れていましたが、その際に接したのはオーストラリアの学校の職員がほとんどでしたので、今回は市長やCEO、議長などと接することができ、前回とは歓迎のされ方や雰囲気の違いを随所に感じました。

たくさんの方々が参加しているもばら祭りで、和太鼓、空手、相撲、剣舞、書道、茶道など日本の文化に親しんでいる姿や、レストランもばらの存在に、ソルズベリーの皆さんのもばら熱、日本熱を感じ、こちらとの温度差も感じたところです。

交流をする中で、私自身もう少し英語が話せないと会話や交流がふかまらないことを感じました。今後こういう機会があるかどうかはわかりませんが、夫婦で英会話の練習に励みたいと思います。

もばら祭りで見られたような文化的な側面、また、議会訪問で交わされた行政面・経済面の諸問題に関する意見交換においても、年齢的に若い層の交流がさらに深まるといいのではないかと感じました。そうゆう面では、毎年行われている中学生の派遣は大きな意義があり、今後も充実・発展していけるといいと思います。

今回の訪問では、鶴岡係長が一番若かったと思いますが、それぞれの団体でもその位の年齢層の交流が充実するといいのではないのでしょうか。ただし、いずれにしても、話の内容を深めるには語学力を磨く必要性を感じました。

ソルズベリー市での歓迎は本当に素晴らしい歓迎でした。空港での歓迎に始まって、ホテルでのティーパーティは私たち日本人には気がつかないおもてなしでした。ワゴンに積まれた沢山のパン・ケーキ類はお洒落で感激しました。やはりヨーロッパ形式の歓迎と思いました。

Mobara 祭りも街の至る所に看板が掲げられていて、力の入れようが感じられました。また、多くの市民が日本の着物を着たり、空手の衣装で空手を楽しんでいることに感動した。

ソルズベリー市の街作りもアジアとは違い、広大な土地を活かし平屋の建物が多く、家の飾りなどもなく質素で無駄がないことに感心しました。

街行く人々を見ても、日本人のようにせかせかしくのんびりとしていて、遊びも日本のように人工的な道具で遊びを楽しむことより、自転車で野山の自然を相手に楽しんでいるような人が多く、健康的な感じを受けました。

一番感激したことは、全ての行事にソルズベリー市長が同伴してくださったことは素晴らしいことでした。

2年前にソルズベリー市の訪問団が来日したときを考えると、フルスケジュールで1日中を埋めるより、食事のとき以外でもティータイム、のんびりとした時間の中でスナックをつまみながら、懇談したりして過ごす時間も必要と考えます。

次にソルズベリーの方々をお迎えするときには、もう少し多くの茂原市民で迎えられる工夫をしましょう。

- 14年ぶりにアデレードとソルズベリー市へ行ったが、人口も増加し活気があり、街が発展していた。
- Aldridge 市長夫妻をはじめ、Gill 議長夫妻、Hains 夫妻、Torimbori 夫妻など、これまでに親交のある方々にまたお逢いできて嬉しかった。
- ソルズベリー市庁舎の近くに Mobara Restaurant があり、美味しい日本食などが提供されてとても感激した。
- 市長や議長が女性の視点で活躍されていて、それを支えている Harry CEO とスタッフの皆さんも素晴らしい。
- 今回の訪問時に通訳していただいた方々には、きめ細やかなサポートをしていただき、本当に感謝している。私たちも英会話がスムーズにできるようになりたいと改めて痛感した。
- Aldridge 市長が、「私たちは Friend だったが、今はもう Family だ」とおっしゃった言葉に感銘を受けた。
- 訪問団の皆さんと楽しい時間を共有することができ、とても良かった。
- これからも茂原市の子どもたちがソルズベリー市の Mobara Matsuri に参加できたり、交流できる機会が増えれば良い。
- ソルズベリー市側の歓迎ぶりとおもてなしに深く感謝している。今後、茂原市側も尚一層の“おもてなし”と歓迎ムードを高める必要があると思う。

1人での参加となり不安でいっぱいでしたが、今回ご一緒させていただいた皆さまには大変お世話になりました。

ソルズベリー市長をはじめ、皆さまに暖かく迎えていただき、ベティ・ギルさんのお宅ではご近所の方も一緒にお話をしたり、ギターの弾き語りを聞いたり楽しいひとときを過ごし、素晴らしいおもてなしをしていただき、大変嬉しく感謝しております。

ソルズベリー市では市長をはじめ、女性の活躍が多く見られました。

街中はゴミがほとんど落ちておらず、綺麗な街並みでした。ごみ箱は固定ではなくローラーがついて動くようになっていて、便利だと思いました。

オーストラリアでは今も先住民のアボリジニを尊敬しており、いろいろな生活の知恵で豊かな現在があり、とても勉強になりました。

2年後にはソルズベリーの皆さまが茂原市にお越しになると聞き、何か私もお役に立てればと、精一杯「お・も・て・な・し」をさせていただききたいと思います。

- ソルズベリー市長をはじめ多くのスタッフの心のこもった歓待を受け、感激した。特に市長自ら全ての行事に随行されたのには驚いた。
- 現地の人の家に招待されたことは非常によかった。彼らの暮らしがよくなり、また、ゆっくり話しができ、交流がより深まった。
- 通訳も優秀でレベルが高かった。

